

「柳政利さんのいた新潟」を語る会

グラフィックデザイナー(反画工房)の柳政利さんが、2014年12月5日、亡くなりました。

61歳でした。

柳さんはほとんど、プライベートや、

過去に自分が関わってきたことをご自身では語らない人でした。

柳さんに関わった人、柳さんに助けられてきた人は多いにもかかわらず、

その柳さんのこと、その人生の全体を知る人はとても少ないということに、

彼が亡くなって、今、初めて気づきます。

1970年代の新潟の演劇や音楽シーンから、文化批評、美術、建築、伝統芸能やダンス、

まちづくりなど、柳さんは新潟のさまざまな動きに敏感に反応し、

独特のスタンスで関わり、見つめ、時に進んでサポートしました。

柳さんの死とともに、新潟の文化シーンもひとつの時代が終わったという思いにもとらわれます。

自分を減らさずに語らなかった柳さんは、没後もあまり語られることを、望まれないかもしれません。

けれども柳さんの関わったさまざまな文化のシーンの記憶をそれぞれが甦らせ

「柳さんのいた新潟」を語ることは許していただけるのではないかと思います。

またそれがそのまま、柳政利さんを偲ぶことになるのだという気がします。

当日は自由な懇談会と、参加者が一人一人順に思い出を語っていただく会の2部構成とし、

出入り自由の、ゆるやかな会としたいと思います。

多くの方々のご参加をお待ちしています。

2015年2月1日(日曜日)14:30~19:00

第1部 懇談会 14:30~17:00

柳さんとの思い出を語り、聞く、懇談の時間です。

第2部 「柳政利さんのいた新潟」を語る会 17:00~19:00(場合によっては20:00まで延長)

参加者お一人お一人から、柳さんが関わった出来事の思い出を語っていただきます。

参加者の人数によって、お話の時間を制限させていただくことがありますので、ご了承下さい。

※第1部、第2部ともに柳さんの妹さんである今泉咲江さんから、お話をいただきます。

※柳さんを知らない方、話を聞きたいというだけの方の参加も歓迎です。

※柳さん関係の資料(写真、冊子、チラシや印刷物など)をお持ちの方は、

当日お持ち下さるか、事前に砂丘館までお届けください。

会場に展示させていただきます。

※会場でのお話は記録させていただきます。ご了承下さい。

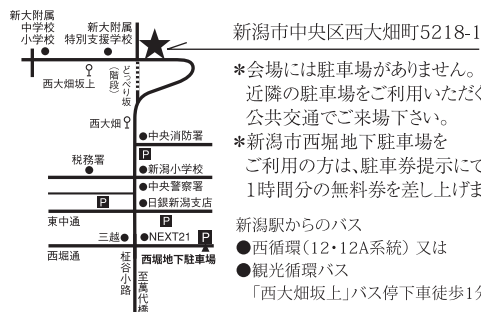
※第2部は軽食をご用意します。

参加料:お気持ちで、カンパ箱に。

カンパは、会の開催費用のほか、
当日の内容をまとめた冊子の制作費用等に
充てさせていただきます。

会場:砂丘館(旧日本銀行新潟支店長役宅)

座敷・居間・茶の間



お問合せ・連絡:新潟絵屋 025-222-6888

大倉 090-5534-0219

主催:「柳政利さんのいた新潟」を語る会

会発起人(50音順)

安達修子/市川明美/伊藤純一/伊藤裕一/井上美雪

今井麻衣子/上田浩子/大倉宏/小川弘幸/小田鮎子/国田珠世

越野泉/齋藤正行/佐藤幸子/佐藤利幸/田代早苗/月乃光司

坪井蓉子/羽生英一/早津博美/船山明/堀川久子/松浦武利

協力:劇団五十嵐劇場/コンチェルト/砂丘館/鳥の歌/NPO法人新潟絵屋

新潟・市民映画館シネ・ウインド/NoismサポーターズUnofficial

